

## 規格外品等を利用した新たな加工品の製造・販売支援

農業技術センター横浜川崎地区事務所 実施期間: 令和2~4年度

### 課題・目的

■ 横浜市内には、JA横浜が整備した「ハマっ子直売所」が13店舗ある。直売所出荷者等から直売所の品揃えと規格外の農産物を利用した加工品製造の要望があり、農産加工技術等の支援が必要である。

■ JA横浜管内の「浜なし®」の産地の一つである緑区の「北八朔恵みの里連絡会」を対象に、規格外や果皮の傷等で販売できなかったナシの利用と、収穫時期以外の販売品目を確保するため、農産加工施設の整備とナシ加工品の商品化を支援する。

### 活動内容

■ <R2年度> 横浜市北部の「北八朔恵みの里連絡会」による加工施設整備のため、優良事例見学を実施するとともに、施設整備に必要なポイントなど助言・指導した。加工に取り組む連絡会員(8人)を対象に講習会を開催し、基本的な農産加工技術や衛生管理・品質管理などの習得を支援した。

■ <R3年度> 加工施設での製造販売の許可申請に必要な工程表作成などを支援するとともに、ナシ加工品の製造技術を指導した結果、令和3年11月から製造が始まった。

■ <R4年度> 直売所等で通年販売が可能な商品形態(瓶詰め)の製造に必要な加工方法や継続して衛生管理・品質管理などを助言・指導した。その結果、約700kgの規格外のナシ果実を加工し、ジャム等の瓶詰め商品約1,000本製造できた。



### 具体的な成果

■ 北八朔恵みの里連絡会では、令和3年度からナシの規格外品等を利用した瓶詰め商品(ジャム、焼き肉のたれ)を製造し、横浜北部地域のハマっ子直売所で販売を始めることができた。令和4年8月からは継続的に3か所で販売している。

■ ナシの収穫期以外の販売品目が確保できたことにより、連絡会員から「年間を通じてお客様にPRできるようになり良かった。」という声があった。